

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年 2月26日

上場会社名 日本製麻株式会社 (コード番号: 3306 東証第2部)
 (URL http://)
 代表者 役職名 代表取締役社長 中本 広太郎 (TEL: (078) - 332 - 8251)
 問合せ先責任者 役職名 常務取締役 大西 清

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無: 有・無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年12月31日)

(1) 売上高

(注)金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

	売上高	
	百万円	%
16年3月期第3四半期	4,683	
15年3月期第3四半期		
(参考)15年3月期	6,093	

- (注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
 2. 当該四半期より四半期の開示を実施しておりますので、前年四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。
 3. 売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、企業業績に改善傾向が見られ、景況感に回復の兆しはあるものの、個人消費の低迷やデフレの継続など引き続き厳しい経済状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは平成15年3月に策定した3ヵ年の中期経営計画に沿って継続的に安定した収益の確保と強固な経営体質を確立するため、生産体制の一層の効率化と原価低減、収益性に重点を置いた営業戦略を展開し、固定費の大幅な削減等を推進してまいりました。

当第3四半期のセグメント別売上高は、産業資材事業、食品事業、水産事業、ホテル・レストラン事業は計画を下回っておりますが、マット事業は需要が好調に推移しており、この結果、連結売上高は46億83百万円となり年間の予想数値に対しましては、売上高78.1%の達成率となっております。

事業別売上高

区分	平成16年3月期 第3四半期		(参考)前連結会計年度	
	千円	(%)	千円	(%)
産業資材事業	742,123	(15.9%)	1,104,377	(18.1%)
マット事業	1,169,801	(25.0%)	788,157	(12.9%)
食品事業	1,607,257	(34.3%)	2,237,993	(36.8%)
飼料事業	93,353	(2.0%)	300,658	(4.9%)
水産事業	267,284	(5.7%)	377,643	(6.2%)
ホテル・レストラン事業	708,737	(15.1%)	1,013,578	(16.6%)
その他	95,181	(2.0%)	271,249	(4.5%)
合計	4,683,739	(100.0%)	6,093,659	(100.0%)

(注) ()内のパーセント表示は、構成比率であります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象はありません。なお、平成15年11月25日の当中間期決算発表時において継続企業の前提に関する注記ならびに中期経営計画の変更の開示を行っておりますが、それ以降第3四半期末日まで重要な変化はございません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	6,000 百万円	260 百万円	150 百万円

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 4円08銭

4. 平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	5,000 百万円	60 百万円	35 百万円

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 0円95銭

当期業績予想は当中間期決算発表時に公表いたしました数値であり概ね計画通りに推移しており、通期の業績予想の修正はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

参考 第3四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

	売上高	営業利益(参考)	経常利益(参考)
16年3月期第3四半期	3,841 百万円	92 百万円	55 百万円
15年3月期第3四半期			
(参考) 15年3月期	5,568	54	3

以 上